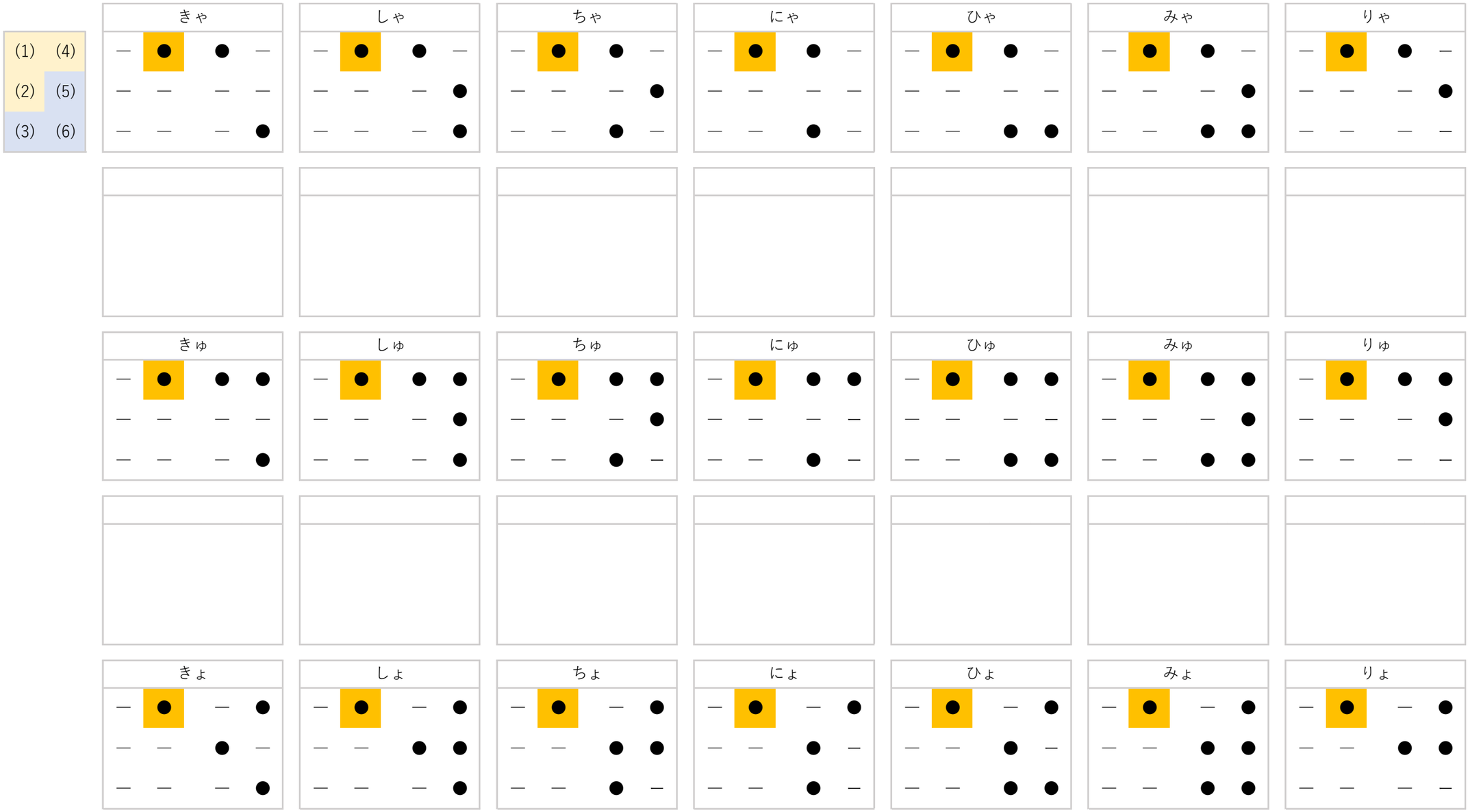
【拗音の点字のしくみ】

拗音は２マスつかって表します。

ひらがなでは「きゃ」は「き」と書いてから小さな「ゃ・ゅ・ょ（拗音）」をつけますが、点字の場合はじめに「ゃ・ゅ・ょ（拗音）」を表す「(４)」の点をつけます。また、「ゃ・ゅ・ょ（拗音）」はすべて「(４)」の点で表します。

ひらがなやカタカナの「きゃ・きゅ・きょ」とは少し違い、点字では「き」も小さい「ゃ・ゅ・ょ（拗音）」もありません。

「きゃ」の場合は、拗音を表す「(４)」の点に「か」、「きゅ」の場合は、拗音を表す「(４)」の点に「く」、「きょ」の場合は、拗音を表す「(４)」の点に「こ」となります。さ行なら、「(４)」の点に「さ・す・そ」、た行であれば「(４)」の点に「た・つ・と」となります。